



松本市図書館だより

平成25年4月1日発行 創刊号



編集・発行 松本市図書館
〒390-0861
松本市蟻ヶ崎 2-4-40
電話/0263(32)0099

図書館だより創刊のあいさつ

今年の新年に職員の提案で、本の福袋の貸出しを行い、好評をいただきました。これまでもテーマ本の展示や季節や社会の動き等に応じた企画を行ってきました。図書館は情報を集め保存する場所ですが、同時に情報を発信することにも力を入れようと、昨年12月には新たに図書館独自のホームページを開設しました。今回は紙ベースでの図書館だよりの発行です。本に関する様々な情報はもちろん、図書館を一層便利にご利用いただくための案内、各種イベントのお知らせ、また利用者の皆さんのお声やご意見なども掲載させていただく予定です。

皆様に図書館をより身近に感じていただき、一層利用しやすく魅力ある図書館運営を進める一つの契機にしたいと思います。職員手作りでの発行ですが、まずは続けていくことが大事だと考えています。皆様のご愛読のほど、よろしくお願いいたします。
中央図書館館長

2013年「こどもの読書週間」 「たくさん読んで 大きくなあれ」 平成25年4月23日～5月12日



「こどもの読書週間」は1959年(昭和34年)にはじまりました。もともとは、5月5日の「こどもの日」を中心とした2週間(5月1日～14日)でしたが、2000年より現在の4月23日(世界本の日・子ども読書の日)～5月12日になりました。

毎年、中央図書館では子ども読書週間にあわせてスペシャルおはなし会など様々な行事を行っています。今年は、おはなし会と安曇野市を拠点に全国各地で公演をしている「ホーボーズパペットシアター」のみなさんによる人形劇を予定しています。



- ◆日時：平成25年5月11日(土) 午前10時30分から
- ◆場所：中央図書館3階視聴覚室
- ◆内容：図書館職員によるおはなし会、人形劇「赤ずきんちゃん」
- ◆対象：小学生までのお子さんと保護者
- ◆定員：80名程度(事前に申込が必要です)

各館紹介

～あがたの森図書館～



あがたの森図書館は、今から34年前、昭和54年に市内で初めての分館として開館しました。場所は、旧制松本高等学校の校舎を利用して作られたあがたの森文化会館の中にあります。旧制松本高等学校は大正8年に開校され、図書館のある本館は同9年に建築されました。こちらは、当時の状況が良好に保存され、日本の学校建築史上でも貴重な建造物として、平成19年に国の重要文化財に指定されました。

市内では一番小さな図書館ですが、一般書と児童書の部屋が分かれており、児童書の部屋はじゅうたん敷きですので靴を脱いでお子様と一緒にゆったりと本を見ていただけます。

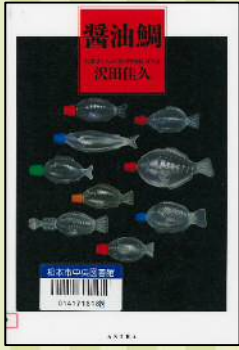
また、一般書の部屋には「旧松本高校コーナー」を設け、北杜夫さんをはじめとした旧制松本高等学校の関連書籍を収集しています。

四月の見頃の時期になると桜が公園内のいたる所で咲き誇り、とても綺麗です。特にオススメなのは中庭の枝垂れ桜です。ちょうど、図書館の目の前が中庭なので、本や新聞を読みながらお花見していただくこともできます。

公園に遊びに来られた際や、文化会館ご利用のお帰りの際、また、お散歩のついでなど、お気軽にお立ち寄りください。ご来館お待ちしております。(写真は今年の桜の様子です)



今月のおすすめ本



『醤油鯛』 沢田 佳久／著 アストラ
【578サ 所蔵館：中央】

醤油鯛・何のことでしょう？ 駅弁で見かける魚の形の醤油入れ、正式名称は「魚型たれびん」。これを収集し、外見上の特徴を本物の魚類のように分類し研究を行った博物館研究員の著者渾身の一冊！！ ただのコレクター本と思っただけにあらさならず。アカデミックな図鑑のような構成を是非お楽しみください。

『デザインあ 解散！』 岡崎 智弘 小学館
【757オ 所蔵館：中央・あがたの森】

食べ物、電卓、トランプなど、私達の身の回りの色々な物が分解され、解散していく様子を描いた写真絵本です。普段何気なく手にしている物が、実は様々な種類のパーツで成り立っていたことに驚くとともに、美しく並べられたパーツは生き物のようで今にも動き出しそう。子供から大人まで楽しめる本です。



予約本ベスト5

平成25年2月15日～
平成25年3月15日受付

一般書

- 1位 『望郷』
湊 かなえ／著、文藝春秋
- 2位 『輝天炎上』
海堂 尊／著、角川書店
- 3位 『ローカル線で行こう！』
真保 裕一／著、講談社
- 4位 『世界から猫が消えたなら』
川村 元気／著、マガジンハウス
- 5位 『沈黙の町で』
奥田 英朗／著、朝日新聞出版

児童書

- 1位 『ちくわのわーさん』
岡田 よしたか／さく、ブロンズ新社
- 2位 『ほねほねザウルス3』
カバヤ食品株式会社／原案・監修
- 3位 『RDG6』
荻原 規子／著、角川書店
- 4位 『かいけつゾロリとまほうのへや』
原 ゆたか／さく・え、ポプラ社
- 5位 『ねむりひめ』
荒井 良二／著、NHK出版

図書館に聞いてみよう！

【今月の事例】

昔の歌の歌詞や楽譜が知りたいのですが、
わかりますか？

Q.

「奈良の大仏さん」という童謡の歌詞が知りたい。
昭和10年ころにレコードを聴いたことがある。

A.

- ① まず、歌詞や楽譜を調べるのに便利な『日本のうた第2集 昭和1』（野ばら社、1998年）などを見ましたが、掲載されていません。
- ② 作詞者がわかれば歌詞もさがせるのでは、ということでレコードの情報を「国立国会図書館サーチ」(<http://iss.ndl.go.jp/>)で検索します。国立国会図書館にレコードが所蔵されており、昭和8年に発売されたこと、作詞は西條八十ということがわかります。

作詞者がわかったので、松本市にある西條八十の本を全て見ました。しかし「奈良の大仏さん」が掲載されている本はありません。そこで、『西條八十全集7 童謡2』（国書刊行会、1994年）を所蔵している塩尻市に問い合わせたところ、歌詞が全てわかりました。問い合わせをいただいた方へは、塩尻市から本を取り寄せて、提供しました。

図書館には、調べ物のお手伝いをするサービスがあります。本についての問い合わせ以外にも、身近な疑問についてもお調べしていますので、お気軽にご利用ください。

編集後記

このたび、市民の皆さまに図書館をもっと身近に感じてもらえるよう「松本市図書館だより」を創刊することになりました。各館職員7名を中心に編集をしています。この図書館だよりでは、普段お伝えできない職員のおすすめポイントなども掲載していきます。

よりよい紙面づくりのため、皆さまのご意見・ご要望をお聞かせください。

